



在自

令和7年4月1日 第491号

入居者状況 総数 110名

從來型：男14名／女56名

ユニット型：男16名／女23名

平均年齢：86.3才



満開の桜と一緒に！笑顔も満開！

基本方針

法人の理念
共に生き、
共に育つ
三世代の実現に
取り組みます。

一人ひとりの「人権」と
尊厳を守り、安心と
笑顔の豊かな暮らし
を支えます。

身体又は精神上著しい障害があり、常時介護が必要で且つ居宅での介護が困難な高齢者に対して法人の経営理念に基づき、入居者及びご家族の想いを大切にした生活の実現を目指すため、それぞれの能力を生かし、自立（自律）した生活が送れるよう適切なサービスの提供に努めます。方針として、

1. 笑顔で一人ひとりの心に寄り添ったやさしい介護

2. 安全で安心の暮らしを支援

3. ご家族や地域に愛され信頼される施設づくり

4. 職員の和を大切に互いに成長できる職場環境への取り組み

1. 笑顔で一人ひとりの心に寄り添つたやさしい介護

① 入居者やご家族の意向に添ったケアプランの作成と適切な記録や情報共有に努め、入居者個々の生きる意欲や力を引き出し、その人らしい日常生活が送れるよう支援します。

② LIFEへの提出を行い、事業所の特性やケアの在り方等を検証し、フィードバックを活用しながらケアプランへの反映、PDC Aサイクルの推進とケアの質の向上へ取り組みます。

(1) 質の評価やデータ活用を行いながら科学的評価に基づき質の高いサービスを提供します。

(2) プライバシーに配慮した温かい言葉がけや丁寧な接遇でコミュニケーションを図り各介助時には説明と同意を得ます。

(3) 個々の機能に合わせた食事・入浴・排泄・整容等のサービスを提供し、自立支援に取り組みます。

(4) 認知症の方が自分らしく過ごせるよう、個別に認知症の行動・心理症状（B P S D）の評価を計画的に行う等 P D C A サイクルにより、症状の予防や出現時に早期対応ができるようチームケアに取り組むとともに、毎月の認知症ケア研修の開催やユマニチュード（相手の目を見る、話しかける、触れる、立たせる）を実践

卷之三

(3) レク・行事
① 趣味や各クラブ活動、イベントや四季折々の行事、各団体とのリモート交流や外出等を通して、ご家族、地域とのふれあいを深め、ゆとりと安らぎ、楽しみのある暮らしを支援します。

①嘱託医や協力医療機関と入居者の現病歴等の情報共有を行う会議を定期的に開催し、適切な受診や救急対応ができるよう実効性のある連携体制を構築します。

令和7年度 特別養護老人ホーム自在園事業計画

②細やかな健康観察を行い、体調変化や疾病の早期発見、適切な対応に努めます。

③調剤薬局との連携を図り、適切な服薬管理に努めます。

④感染症対応力の向上のため、新興感染症を始めとする感染症の発生時等に診療を実施する協力締結医療機関との連携体制の構築や当該医療機関や医師会が定期的に主催する研修会に参加し、助言や指導を受けながら対応します。

⑤感染症発症時においてサービスの提供を継続的に実施するため、標準予防策・経路別感染予防策、感染症発症時のシミュレーション等の実施等、B.C.P.に基づき、感染症の発症や発生時のまん延防止に取り組みます。

(5) 機能訓練

⑥胃瘻等からの適切な栄養注入、必要に応じた喀痰吸引や口腔ケアで肺炎予防に努めます。

⑦定期的なアセスメントや栄養状態の確認、適切な体圧分散寝具の選択と除圧ケア、皮膚の保清で褥瘡予防に努めます。

(7) 食事

①入居者やご家族の意向を尊重しながら、生活リハビリや個別機能訓練計画に基づき入居者の心身機能の維持・向上に努めます。

②脳トレ・作業療法・作品づくり等で手先や頭を使い、楽しみながら日々の介護予防が図れるよう支援します。

③看取りケア

①入居者やご家族の意思を尊重し、付き添い環境を整えながら、最

期まで「その人らしさ」を大切に手厚い看取り介護ができるよう支援します。

②オンライン・24時間連絡体制に基づき、嘱託医・協力医療機関との連携を図ります。

(6) 看取りケア

①入居者やご家族の意向を尊重しながら、生活リハビリや個別機能訓練計画に基づき入居者の心身機能の維持・向上に努めます。

②脳トレ・作業療法・作品づくり等で手先や頭を使い、楽しみながら日々の介護予防が図れるよう支援します。

③看取りケア

①認知機能や摂食・嚥下機能の低下等により経口摂取に障害が発生

しても口から食べる楽しみが得られるよう適切な評価と支援の充

実を図り行事食や季節感のある食事を提供します。

②入居時及び入居後の定期的な口腔衛生状態・口腔機能の評価が義務付けられ、歯科医師や歯科衛生士による技術的助言及び指導、多職種による食事の観察（ミールラウンド）や会議、摂食・口腔

ケア委員会で経口維持支援の充実に努めます。

③食事・水分量を把握し、状態に合わせた食事メニュー・栄養補助食品等の活用で低栄養や褥瘡発症を予防します。

④口腔ケアや口腔体操、個々に合わせた食事介助やポジショニングで食事を楽しんでいただき、食後のファーラー体位で誤嚥性肺炎を予防します。

⑤入退居に伴う入居者の栄養管理に関する情報連携が切れ目なく行われるよう、医療機関等の管理栄養士と栄養ケア計画を作成します。

す。

2. 安全で安心の暮らしを支援

(1) 身体拘束・高齢者虐待防止、介護事故防止

①入居者本位のサービスに努め、身体拘束・高齢者虐待防止委員会や介護事故防止委員会が中心となり、個人の尊厳を大切に事故分析や改善案の周知徹底に努め、プライバシーの保護や安全性に配慮します。

(2) 環境・防災・防犯

①施設周辺の環境美化、各種保守点検や定期害虫駆除等により、安全で快適な環境を作ります。

②入居者や職員の生命の安全を保障することを最優先とし、防災設備の管理、消火訓練や避難訓練等の災害時の教育等を計画的に行い、災害が発生した場合であっても必要な介護サービスを継続的に提供できる体制を構築等、B.C.P.に基づき必要な措置を講じます。

(3) 自治会活動

①日々の暮らしの中でその人らしさや個々の生活習慣・価値観を大切に、寿会活動により入居者相互の融和を図り、園内ボランティアによる生きがいづくり等、ユニットの特色を生かした家庭的な暮らしを支援します。

(4) 介護機器・介護ロボット

①入居者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の開催や安全対策を講じた上で、見守り機器のテクノロジーを活用し、生産性向上ガイドラインの内容に基づいた業務改善を継続的に行います。

②介護機器（ノーリフティング等）を導入・活用し、介護者の負担

軽減や、入居者へ安心と安全のケアを提供します。

③愛南警察署の交通安全教室や安全交通情報の共有、アルコール検知器での確認により、交通安全に対する意識の啓発に努め、ドライバー

サービスを行います。運送サービスを行います。

3. ご家族や地域に愛され信頼される施設づくり

(1) 家族会との連携

①総会や行事の協賛等家族会活動を支援し、新しい生活様式を踏まえた面会（対面・窓越・オンライン）、電話連絡で連携を密に

(2) 関係機関との連携

- ①指定居宅介護支援事業所、各介護サービス事業者、地域連携室、関係機関等との連携を図り地域のニーズに添った在宅介護を支援します。
- ②専門職としての知識や経験を生かし、介護技術や栄養指導等で在宅生活を支援します。

(3) 入所検討委員会

- ①必要性の高い方の優先的な入所を行うため、明確な入所基準に基づき、入所決定過程の透明化・公平性を確保し、入所待機者の把握と入所検討委員会の厳正な運営、さらに介護度2以下の退所対象者となつた方への適切な支援に努めます。

(4) 相談・苦情

- ①相談・苦情には誠意をもつて迅速・適切に対応し、より一層公正性を高めるため第三者委員をおき、苦情解決システムの充実を図ります。

(5) ボランティア

- ①地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資するよう、ボランティアや各種学校等の交流を積極的に行い福祉人材の育成に努めます。②行事や傾聴、子どもボランティアの受け入れにより、風通しの良い地域に開かれた施設を目指します。

(6) 社会貢献活動

- ①町内4法人が連携し、福祉教育の推進に取り組みます。②認知症等で判断能力の不十分な方に対し、成年後見人等を受任することで、住み慣れた町で最期まで生活できるよう支援します。③SDGsの観点から、節電や節水、ペーパーレス、封筒や新聞紙等の再利用、環境に配慮した取り組みを行います。

(7) 広報活動

- ①家族会活動や町内のイベントへの参加、機關誌「自在」での情報共有等で地域との関わりを大切にし、信頼の構築と地域福祉の発展に努めます。②法人ホームページにおいて、事業所の運営規定の概要等の重要な項目や財務諸表等の情報公開はもとより、コンテンツを充実させ、地域とのコミュニケーションの促進に努めます。

4. 職員の和を大切に互いに成長できる職場環境への取り組み

(1) 働き方改革

- ①入職促進に向け業務内容を細分化し、多様な働き方の推進等、求職ニーズにあつた業務の創出で新たな人材確保と既存職員の満足度・定着率のアップを図ります。②委員会を中心に、両立支援等の諸制度の活用も図りながら、リフ

レッシュ休暇、業務の効率化、残業ゼロ等を目標に、職場環境の改善に努めます。③心身ともに健康で働けるよう定期的な健康診断による疾病的早期発見、腰痛予防、ストレスチェックによるストレス状態への気づきを促す等、環境改善により安心して働く職場づくりを支援します。

(4) 生産性向上

- ①によるベースアップを行うほか、キャリアパス制度に基づく職員の待遇の向上を図ります。⑤やりがい・働きがいの醸成のため、ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を図ります。⑥親睦会活動を助成し、職員間の融和を図ります。

(2) 職員教育・人材育成

- ①申し送りやシステムを活用し、情報を共有することで、多職種間の連携に努めチームケアを実践します。②各種研修会（eラーニング等）、施設内の諸会議・委員会等で技術の向上や専門性、教養を高め、資格取得や疾の吸引等研修、無技資格者の認知症介護基礎研修の受講、新人教育等で人材の育成に努めます。③介護プロフェッショナルキャリア段位制度により各自が目標へ向けて、自信と誇りを持ち、モチベーションを高めながら職務に携われるよう職場環境を整えます。

(3) 入居者支援

- 入居者は年々重度化の傾向にあり、エビデンスに基づいた自立支援・重度化防止に資するサービスの提供等、ニーズも多様化していくます。科学的介護の推進により、引き続きLIFEを活用しながら各種介護現場にAIやICTのデジタル技術を取り入れ、書類の簡略化等、業務のスマート化を行い、職場環境の改善や負担軽減を図ることで、モチベーションの向上や安定的な経営、生産性の向上に取り組みます。

(4) 入居者支援

- 入居者やご家族の満足度を高め、各自が接遇のスキルを上げながら、これまでの経験と実績を基に、広い視野と専門性・総合力を身に着け、「その人らしい暮らしの継続」「家族と共に創る住まいづくり」に向け、高品質サービスの提供と健全な施設運営に努めていきます。

令和7年度 月別事業計画

月	全 体	ユニット	ボランティア	健康・環境・衛生管理	職 員 研 修
4月	花まつり・誕生会			嗜好調査 長谷川式知能評価調査	
5月	誕生会・母の日 家族会総会・交流会	お楽しみクリッキング		除草・消毒・施肥 避難訓練	第1回南予老施協総会・施設長研修会 第1回県老施協総会・施設長研修会
6月	誕生会・父の日		御荘地区民生児童委員	食中毒予防月間 避難訓練(土砂災害) フィルター清掃	第20回愛媛県老人福祉施設大会(26)
7月	七夕の集い 誕生会	七夕飾り 竹そうめん		剪定・除草 消火訓練・消防設備点検 エアコン点検	テーマ別研修①(23) デイサービス研修会
8月	初盆供養 盆踊り大会 誕生会		踊り各団体 愛南町社協 南宇和高校 愛教研南宇和支部 はまゆう乳幼児保育所	浄化槽法定点検	テーマ別研修②(12or14) 第72回四国老人福祉施設関係者研究大会(香川/21~22)
9月	誕生会・敬老会 家族会奉仕活動・交流会 精神講話	お楽しみクリッキング ホーム喫茶	特設人権相談所 南宇和理美容組合 南宇和仏教会	避難訓練 利用者・職員健康診断 ストレスチェック診断 肺炎球菌ワクチン接種	職員研修会①「介護職・介護支援専門員部会」(南予老施協)
10月	運動会 誕生会 一日孫の日		平城小学校 はまゆう乳幼児保育所	嗜好調査	テーマ別研修③(23or24)
11月	地域交流文化祭 こども作品展 誕生会		平城小学校 地方祭(各地区) はまゆう乳幼児保育所 愛南町教育委員会 更生保護女性会	インフルエンザ予防接種 剪定・消毒・除草 胸部X線写真撮影	テーマ別研修④(13or14)
12月	誕生会・忘年会 クリスマス会 もちつき	自在鍋	防犯協会 J Aえひめ南女性部	感染予防 シェイクアウトえひめ 大掃除	テーマ別研修⑤(22) 第4回全国老人福祉施設大会(山口/4~5)
1月	新年祝賀会 誕生会・新年会 長寿を祝う会			感染予防 消火訓練・消防設備点検 フィルター清掃	第23回四国老施協セミナー(愛媛/22~23) 職員研修会②「認知症」(南予老施協)
2月	節分 誕生会	自在鍋		感染予防 レジオネラ菌検査	デイサービス研修会
3月	誕生会 家族会役員会	ホーム喫茶		感染予防 受水槽清掃・浄化槽清掃 利用者健康診断 特定業務従事者健康診断	第2回南予老施協総会 第2回県老施協総会・施設長研修会(4or5or6)
毎月 随時	【毎月】 ※はーとクラブ お話クラブ 俳句クラブ ミュージック・ケア	【毎月】 習字クラブ ユニットトレク 【随時】 バスハイク		定期回診 口腔ケア指導 経口維持加算 (ホールカント・会議) 散髪日 凈化槽点検 電気設備(隔月) 厨房害虫駆除	喀痰吸引等研修

諸 会 議	会議名	回数	主な参加者	会議名	回数	主な参加者
	職員研修会	月1回	全職員	デイサービス会議	月1回	デイサービス職員
	管理者会議	月1回	各部署の管理者他	居宅支援事業所会議	週1回	介護支援専門員
	ケアサービス会議	月1回	特養職員(多床室・個室)	G H職員会議	月1回	グループホーム職員
	ケアカンファレンス 濃密カンファレンス 看取カンファレンス (栄養・褥瘡・機能訓練・排泄)	随時	介護支援専門員 各ユニット職員 生活相談員・看護職員 管理栄養士 機能訓練指導員他	専門委員会	毎月~随時	委員他
	給食委員会	月1回	委託業者・管理栄養士・入居者代表他	企画運営委員会	毎月~随時	委員他
	看護職員連絡会	隔月1回	看護職員	寿会	月1回	入居者・生活相談員他
	ユニット会議	随時	各ユニット職員	家族会総会・役員会	年2回	家族・職員
				入所検討委員会	年4回	入所検討委員(4・7・10・1)
				苦情処理第三者委員会	年2回	第三者委員・各部署管理者他(6・12)
				G H運営推進会議	隔月1回	運営推進委員(5・7・9・11・1・3)

*専門委員会

委員会名	開催
①身体拘束・高齢者虐待防止委員会 介護事故防止（リスクマネジメント）委員会	毎月
②感染症予防委員会	3か月毎（随時）
③看取り介護委員会	随時
④褥瘡予防委員会	随時
⑤機能訓練委員会	随時
⑥摂食・口腔ケア委員会	毎月
⑦介護職員等のたんの吸引等に関する安全委員会	隔週
⑧排泄ケア委員会	随時
⑨生産性向上委員会 (利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会)	3か月毎（随時）

*企画運営委員会

委員会名	開催
①編集委員	毎月
②企画委員	毎月
③衛生委員会	毎月
④災害対策委員会	随時
⑤医療ガス管理委員会	随時
⑥働き方改革委員会	随時
⑦職員親睦会	随時

*職員研修会

月	職員研修会
4月	※倫理及び法令遵守に関する研修会 ※利用者等のプライバシー保護（個人情報保護）
5月	※非常災害時の対応（風水害・地震・津波）※救急救命講習（応急処置） ※ハラスマント研修（セクハラ・パワハラ・マタハラ等）
6月	※介護事故予防・身体拘束・高齢者虐待防止
7月	※感染症予防（食中毒のまん延予防）
8月	※褥瘡ケアと栄養管理
9月	※労働災害対策・腰痛予防対策指針・職員の健康診断
10月	※感染症予防（インフルエンザ・ノロウイルス対策）吐物の処理方法他
11月	○交通安全について ※介護事故予防・身体拘束・高齢者虐待防止
12月	※不審者対応について ※看取り介護
1月	※認知症ケア ※不妊治療と仕事の両立研修
2月	※職場のメンタルケア ※女性活躍推進研修
3月	○介護技術



ご家族の皆さんには平素から大変お世話になりありがとうございます。

2020年、突如始まった新型コロナウイルス感染症も今年で6年目を迎えました。

この間、入居者様並びにご家族様には、深いご理解とご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。様々な制限の中で、ご心配やご不自由をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

5年を経過した今日に至ってもコロナの完全な収束は望めないと判断し、今後はコロナと共に存しつつ、新しい生活様式の中で暮らしていくことを考えました。

ご家族の皆様もスタッフも、入居者様を守らなければならないという強い思いは同じだと思います。



つきましては、お知らせを出して、令和7年4月1日より下記のとおり面会方法を改正いたします。

*** 面会時 お願い事項 ***

- ① 面会予約 今までどおり事前予約が必要です。
- ② 面会時間 9:30～11:30・14:30～16:30 の間の30分以内
- ③ 面会人数 3名まででお越しください。
* 4名以上の場合は、玄関面会室をご使用ください。
- ④ 面会場所
 - ・多床室 … 各ユニットの面会コーナー
 - ・個室 … 居室
- ⑤ その他
 - ・受付で健康チェック後、スタッフがご案内いたします。
 - ・面会時は手指消毒、マスクをご着用ください。
 - ・施設内の飲食はお断りいたします。
 - ・体調不良や感染の不安がある方はくれぐれもご遠慮ください。
 - ・感染状況により一時的に変更する場合がございます。

3月のアルバム

3/16 誕生会



3/28 ホーム喫茶



ホットニュース

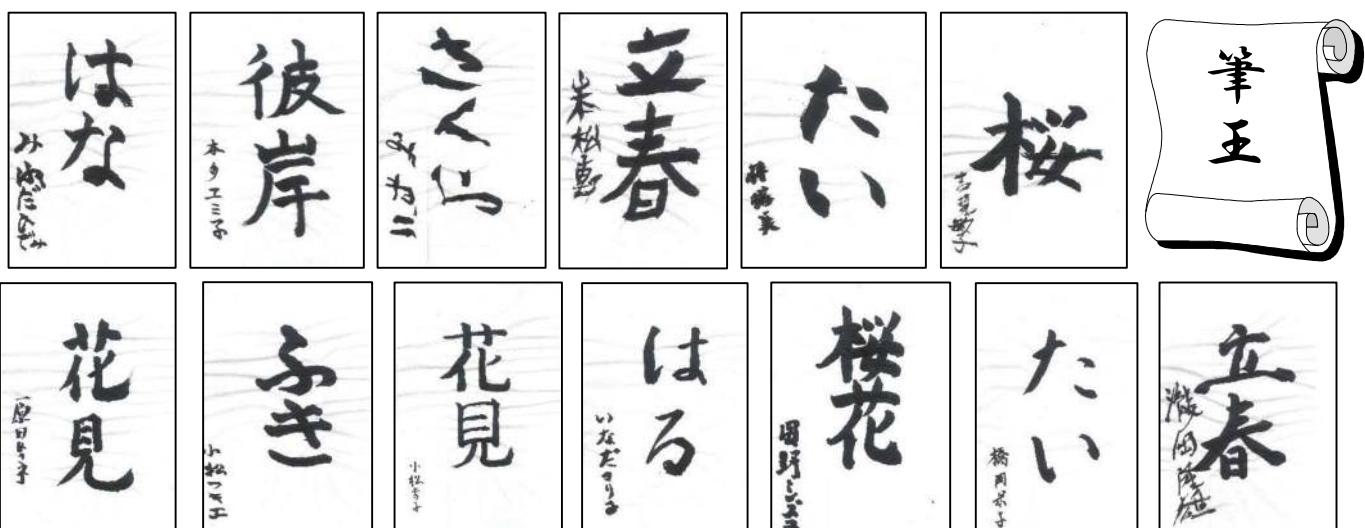
その1 車椅子5台、電動ベッド25台を新調！



その2 “まごころ”たくさん！



石塚様より、大根、白菜、ねぎ
をたくさんいただきました！



キャラッヂ愛！



4月誕生者

風の家



幸田様

柴田様

間口様

杜の家



岡崎様

尾崎様

24	22	21	17	16	14	11	8	7	1
入所検討委員会				日(火)口腔ケア指導	日(月)散髪日	日(金)誕生会	日(火)花祭り	日(月)職員研修会	日(火)参拝日
日(木)管理者会議	日(火)愛媛社会保険委員会連合会定例理事会	日(月)寿会総会	愛南町嚙下プロジェクト会議						
給食委員会									

四月の行事予定



海の家・月の家



本多様

山本様

家族会総会のお知らせ

日時 令和7年5月25日（日）10時00分～11時30分

場所 特別養護老人ホーム自在園（あけぼのホール）

- 議題
- 1 令和6年度事業報告（案）並びに決算報告（案）について
 - 2 令和7年度事業計画（案）並びに予算（案）について
 - 3 役員改選について
 - 4 その他

【三月】

ご芳志いただいた方々
菊川公民館
谷岡俊男
小松静功
岩崎三千代
宇都宮好一
石川良子
石塚正博
中尾ワキ子
有限会社
凝地

（敬称略）

相談・苦情の受付【3月】

苦情の申し出はありませんでした。

自 在 の 窓 〈俳句クラブ〉

へ 俳 句 へ

満開の桜の夢で目覚めけり

施設より望む遠山やま桜

グループホームみしようの里

泰 子

窓側の温き日差しや春そこに

憲

富 子

花も木も陽光浴びる散歩道

憲

明 子

ひな祭り七段飾りに嫁入りの夢

敏 子

フミヲ

「命くれない」流れる窓に春陽射す

敏 子

熊 夫

朝日さし笑顔満開桜見る

静 子

熊 夫

流れ星母娘会話の邪魔をする

静 子

陽 子

早咲きの桜満開気の晴れて

エミ子

陽 子

デイサービスセンター自在

身の丈に合つた暮らしや春遠く

カツコ

千代子

菜園の若草のびて入彼岸

カツコ

千代子

冬帽子父の念仏よみがる

榮美子

特 養

窓越しの蠟梅の花愛でており

榮美子

特 養

春彼岸僧の法話に舟を漕ぐ

能 子

敏 子

山々が色づき染めし桜かな

能 子

敏 子

へ 川 柳 へ

へ 短 歌 へ

デイサービスセンター自在

休み田に土筆誰の子杉菜の子

幾千本の春告げる使者

千代子

茜雲うすれし空を見上げれば

朧おぼろの春の夕月

千代子

安心の見守りシステム部屋カメラ

守られている穏やかな日々

敏 子

高台の老人ホームに「命くれない」

流れて日は暮れてゆく

敏 子

自在だより

季節は移ろい、寒い冬から春の暖かい日差しが嬉しい季節となりました。引き続き感染症予防対策を行なって頂けるようお花見見学など職員一同、工夫していきます。皆さまがどうか穏やかに過ごせるよう願います。



新入居者紹介
よろしくお願いします！



松田千束 様

散歩

*花見ドライブ
河津桜の前でパチリ！

今月の予定

*花見ドライブ

四月に入り、春らしいポカポカ陽気の日が増えてきました。
気持ちも新たにスタートし、入居者の皆様に安心・安全に過ごしていただけるよう努めていきたいと思います。



プレゼント

子どもたちからいただきました



皆さんでお手伝い



いい笑顔♪



立派な大根ですね



娘さんから
プレゼント♪



みんなでお祝い



スタッフの手作りケーキ



みんなで
いただきます



◇ ◇ 思索の丘 ◇ ◇

お た よ り より（担当）

感 染 症 に 注意 し ま し ょ う。

引 続 き、感 染 予 防 に 取 り 組 ん で い き ま す の で、ご 理 解 と ご 協 力 を お 願 い 申 し 上 げ ま す。

春 に な り、お 気 に 入 り の 場 所 へ 行 キ、寝 転 が つ て 空 を 眺 め た り、居 眠 り し て 気 持 ち を 整 え たり す る 事 が あ り ま す。プロ 野 球 も シ ー ズ ン 開 幕。子 供 の 頃 は、テ レ ビ で 每 日 の よ う に プ ロ 野 球 中 繙 が 流 れ て い た 事 を 思 い 出 し ま す。年 齢 を 重 ね る に つ れ、テ レ ビ で 野 球 を 見 る と い う 事 は 少 なく な り ま し た。最 近、日 本 の プ ロ 野 球 や メ ジ ャ リ ー グ で 活 躍 さ れ、先 日、日 本 と ア メ リ カ 両 国 の 野 球 殿 堂 に 入 ら れ た イ チ ロ ー 氏 を 取 り 上 げ た 雜 誌 や テ レ ビ な ら ど を 良 く 見 て い ま す。

現 役 を 引 退 し た 後、イ チ ロ ー 氏 は、野 球 の 発 展 を 目 的 と し て 女 子 選 択 チ ーム と の 試 合 や 全 国 の 硬 式 野 球 部 を 訪 問 し、部 員 と 共 に 汗 を 流 し な が ら コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン を 図 ら れ て い ま す。

硬 式 野 球 部 の 訪 問 の 中 で 出 身 校 の 愛 工 大 名 電 の 練 習 に 参 加 さ れ て い ま し た。ボ ー ル の ス ピ ー ド や 角 度、回 転 数 な ど を 瞬 时 に デ ー タ 化 す る 設 備 が 整 え ら れ て い ま し た が デ ー タ を 重 視 し す ぎ て い る ユ ー チ や 選 手 に 対 し て 危 機 感 を 感 じ、デ ー タ と し て は 反 映 さ れ な い 事 を 落 と し て は い け な い と 伝 え ら れ て い ま し た。

メ ジ ャ リ ー グ で も デ ー タ 重 視 に な り、デ ー タ 通 り に 選 手 が 動 か な け れば、そ の 選 手 の 評 価 は マ イ ナ ス 評 価 と さ れ る 時 代 に な り、選 手 の 個 性 や 感 性 を 表 現 で き る 場 面 や 打 順 な ど の 役 割 が 軽 視 さ れ、野 球 を 見 て い て も ワ ク ワ ク す る 楽 し い 気 持 ち が 涌 か な く な っ て き た と イ チ ロ ー 氏 と 松 井 秀 喜 氏 が 話 さ れ て い ま し た。

福 祉 の 現 場 も 担 い 手 不 足 の 問 題 が あ り ま す。最 近 で は、デ ジ バ ル 機 器 の 導 入 や 生 産 性 の 向 上 が 唱 え ら れ て い ま す。自 立 支 援 ツ ル の デ ジ バ ル 機 器 の 導 入 も あ り ま し た。しか し 直 接、人 が 人 に 人 の 手 を 入 れ る 場 面 は 変 わ り ま せ ん。デ ジ バ ル 化 に よ る 生 産 性 向 上 と は 何 カ、自 分 自 身 ま だ 十 分 に 理 解 が 出 来 て い ま せ ん。「生 産 性 の 向 上、デ ジ バ ル 機 器 の 導 入、時 代 な の だ か ら。」と 言 わ れ ば そ れ ま で す が、こ こ で も 個 性 や 感 性 が 失 わ れ る の か な と 危 機 感 を 感 じ て い ま す。

進 取 果 敢・・・自 ら 進 ん で 積 極 的 に 物 事 を な し、決 断 力 に 富 み、大 胆 に 突 き 進 む 様 子 を 表 す 言 葉 で す。

雲 外 蒼 天・・・ど ん な 困 難 や 試 練 で も 努 力 し て 乗 り 越 え れば、必 ず 明 る い 未 来 が 待 つ て い る と い う 意 味 で す。（※ 野 球 を や つ て い る 息 子 の グ ロ ー ブ の 内 側 に も 刺 繡 が し て あ り ま す。）

デ ジ バ ル 化 が 進 ん で も 担 い 手 不 足 や 負 担 の 解 消 は 難 い か も し れ ま せ ん が、こ こ か ら も 一 人 一 人 の 個 性 や 感 性 も 大 切 に し な が ら、積 極 的 に 決 断、行 動 し、困 難 な 事 も 乘 り 越 え ら れ る よ う に 同 様 と 向 き 合 い 続 け ら れ れ ば と 思 つ て い ま す。

看護課長補佐 伯耆正一郎

何 か 新 し い こと！

【今月のことば】

私はその日その日をあるがままに生きようとしてきました。

明日におびえず、無駄な心配をしないように。

私たちを臆病にさせるのは将来への暗い見通しなのだから。

（ドロシア・ディックス　—女性の格言より—）

南宇和郡愛南町満倉二三〇一番地一
社会福祉法人御荘福祉施設協会

電 話(0八九五)七一三一一一

FAX(0八九五)七一三一一二五

特別養護老人ホーム自在園
デイサービスセンター自在園

居宅介護支援事業所自在園

グループホームみしょうの里
発行責任者 施設長 濱香代美

